

科目	学年・小学科	単位数
商業・総合実践	3年選択・全学科	3
教科書	実教出版 総合実践「同時動業法を中心として」	
副教材	実教出版 総合実践 演習ノート	

## 1. 学習目標

商業の各分野に関する知識と技術を実践的活動を通して総合的に習得させ、ビジネスの諸活動を主体的、総合的に行う能力と態度を育てる。

## 2. 学習方法

- 学習内容は礼法指導、模擬取引実践、ペン習字練習であり、模擬取引実践はテキストを活用して、実務演習を繰り返す。
- 取引実践は、文書作成・帳簿記入を丁寧に取り組ませ、正確丁寧に記帳をし、確実に作成能力を身につける。
- 不明な点は積極的に質問して「同時同業法」に対する理解を深める。
- 基礎・基本の取引実践が確実にいえるように、事前の解説に時間をかけ理解度を増す。
- 必要に応じてケーススタディやグループワークをおこなう。
- スーパー実践くんでパソコンを使った実務に則した模擬取引演習を行う。

## 3. 評価の観点と趣旨

① 関心・意欲・態度	ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や業務の合理化について関心を持ち、主体的に学習に取り組むとともに社会人として望ましい心構えや態度を身につけている。
② 思考・判断・表現	ビジネスの様々な場面における適切なコミュニケーションの方法やオフィスにおける合理的な業務方法を、基礎的な知識をもとに自ら考え工夫するとともに、その成果を的確に表現することができる。
③ 技能	社会人として望ましい心構えやビジネスマナーを身につけ、具体的なビジネスの場面において適切にコミュニケーションをとることができ、合理的な業務を実践することができる。
④ 知識・理解	ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や適切な方法、オフィス業務について基礎的・基本的な知識を身につけ、ビジネスコミュニケーションやオフィス業務の重要性を理解している。
⑤	

科目名	学年・小学科	単位数
総合実践	3年全学科	3

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	第1編 総合実践の基礎	1 総合実践の学習	1 総合実践の学習目標と内容、学習方法	○			○		挨拶 ペン習字 授業態度 進度 発問 提出課題 小テスト ファイル提出 定期考査 グループワーク
		2 対応の心得	1 対応の一般的心得、話し方と言葉遣い 2 来客と対応、電話による対応		○	○	○		
		3 文書の作成	1 事務における文書の重要性 2 事務文書の役割と特質、文書作成の基本 3 通信文書の作成・取引の用いられる文書 4 取引に用いられる文書 申込状・承諾状・見積依頼状・見積案内状 注文状・注文礼状・出荷案内状・着荷案内状 代金請求状・送金案内状・送金礼状・支払い督促状	○	○	○	○		
	4 代金の支払い	1 小切手による支払い 2 手形による支払い 3 振込による支払い	○		○	○			
前期末	第2編 基本取引	1 取引開始にあたって	取扱商品・流通経路・帳簿組織・各勘定残高 企業の名称・所在地・取引銀行	○	○	○	○		○取引開始にあたっての必要事項をしっかりと把握し、演習を開始できるか。 ○各会計帳簿の開始記入を正確にできるか。 ○仕入れ取引に必要な文書の流れを把握し、正確に文書を作成できるか。 ○ワンライティングシステムの帳票では、売り手・買い手の両方の立場で記入作成する演習であることをしっかりと把握する。 ○代金の支払いを銀行をとおして行う場合、小切手や手形の事前の処理をしっかりと行えるか。 ○約束手形の振り出し、裏書きの帳票処理をしっかりと行えるか。 ○会計帳簿を取引に沿って、帳票類と並行しながら正確に記入できるか。
		2 仕入取引	1 文書・商品の流れ 2 値段の問い合わせ 3 商品の発注 4 商品の受け取り 演習1～演習6	○	○	○	○		
		3 販売取引	1 文書・商品の流れ 2 商品の受注・発送 3 代金の受け取り 演習7から演習16	○	○	○	○		
後期中間	総合実践演習	スーパ―実践くん	1 同時同業法 ログインID登録から演習選択まで 取引の流れ 市場構成と取引商品 名刺作成 メール作成 会社設立の諸届け一覧 2 模擬実践取引演習	○		○	○		○商社を開業し、経営者や社員として経理の業務や仕入れ、販売の業務等の仕組みや商品・お金の流れ等を理解できたか。 ○市場構成を理解し、取引商品を決定できたか。 ○自分のイメージどおりの名刺を作成できたか。 ○模擬取引演習の流れを理解し、演習を自分ですすめるか。
後期末	第3編 取引演習	1 取引開始にあたって 2 総合取引演習	取扱商品・流通経路・帳簿組織・勘定科目 企業の名称・所在地・取引銀行 演習1から演習3 演習4から演習14 演習15から25 演習26から演習39 会計処理 演習40	○	○	○	○		○取引開始にあたっての必要事項をしっかりと把握し、演習を開始できるか。 ○卸売商・製造業者・小売商を同時に担当し、一連の複雑な取引・会計処理を行う同時同業法であることを理解できるか。 ○会計帳簿への開始記入や各取引に必要な取引文書作成や会計帳簿への記入を正確にできるか。 ○各取引日の内部事務を正確・丁寧に、更に速く完成できるか。 ○決算の会計処理を手順を踏んでおこなうことができるか。